

1 策定の背景・趣旨

平成25年3月 「新たな多摩のビジョン」の策定

- ・人口減少や高齢化率の上昇などの状況変化を踏まえ今後の方向性を明示
- ・多様な主体における活動指針となることを目指し、発信

平成26年3月 「新たな多摩のビジョン行動戦略」の策定

- ・ビジョンで示した目指すべき多摩の姿の具体的な内容を明示
- ・都の取組に加えて、多摩地域の各主体の取組を、20の行動戦略として体系的にとりまとめ。

これらの指針等を踏まえて、目指すべき多摩の姿を実現するため、

- 「新たな多摩のビジョン行動戦略」に掲げた都の事業を着実に推進していく。
- 行動戦略の策定を契機として、多摩振興に向けた取組をさらに積み重ねるとともに、市町村や民間企業など多摩地域で活動する様々な主体間における一層の連携強化を図っていく。

こうした考えの下

「新たな多摩のビジョン行動戦略 年次報告書2014」を作成

2 年次報告書の概要とポイント

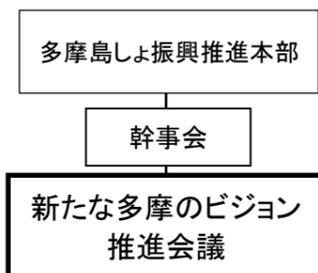
＜概要＞	◇ 行動戦略に掲げたすべての都事業	: 175	◇ 平成27年度都事業費	: 約4,173億円
	◇ 行動戦略策定後の新たな取組等	: 都事業 42 市町村・民間等の新たな取組 47		(対前年度比 約106億円増)

＜ポイント1＞推進体制の整備と活用

2つの会議体を活用した推進体制を構築し、この体制を活かして、都、市町村、民間等の取組を把握

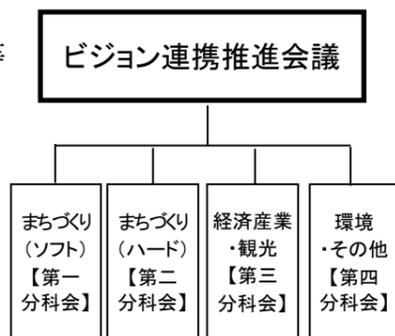
(1)新たな多摩のビジョン推進会議

- ・ 戦略策定時に設置した会議体を再編し、「新たな多摩のビジョン推進会議」を新設
- ・ 本会議を活用して、行動戦略に掲げた都事業の進捗状況等の調査を実施
対象： 戦略全事業、新規事業
時期： H26.8～10、H27.1～3



(2)ビジョン連携推進会議

- ・ 多様な主体相互の共通認識の醸成等を図るため、平成25年度より設置
- ・ 行政職員のほか、学識経験者、民間団体等も加えて構成
- ・ 平成26年度の開催状況
推進会議:H26.6、H27.2
各分科会:H26.8～H27.1(9回)



＜ポイント2＞都事業の進捗状況や最新の動向を把握

戦略に掲げた都事業の進捗状況や、戦略の策定後の事業を取り巻く状況変化も踏まえた都事業の最新の動向を把握

(1)戦略に掲げた都事業の進捗状況の報告

- ・ 戦略で掲げたすべての都事業(全175事業)について、その進捗状況をとりまとめて報告

＜主な事業の取組状況＞

- **スポーツ・文化の振興**
・1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念行事の開催
- **道路ネットワークの整備**
・圏央道の都内区間が全線開通 (高尾山IC～相模原愛川IC間開通) など

(2)新たな取組など都の最新動向をとりまとめて報告

- ・ 多摩・島しょ地域の振興を都市戦略の柱の一つとした長期ビジョンの策定なども踏まえて、多摩地域において新たに展開する都事業等について、最新の動向をとりまとめて報告

＜主な事業の取組状況＞

- **子育て環境の充実**
・保育所等整備促進のための用地確保策の拡充
- **雇用・就業の推進**
・多摩地域における雇用就業対策の推進 など

行動戦略のPDCAサイクルを有効に機能させていく。

＜ポイント3＞市町村、民間等による新しい取組をとりまとめ

ビジョン連携推進会議等を活用し、市町村、民間企業等による地域の実状に即した創意工夫ある新たな取組をとりまとめ。

- ・ 行動戦略では、市町村や民間企業等による様々な工夫ある取組をとりまとめたが、これ以外にも、多摩地域が直面する課題の解決に向けて、参考となる事例が存在

＜主な取組例＞

- **人口減少や少子高齢化を見据えた取組**
・ NPO法人と連携した学校跡地の有効活用
・ 地域の事業者と連携した高齢者のいきがい就労の推進
- **地元特有の資源を活かした地域の活性化**
・ 地域在住のメカニックデザイナーの協力を得て、その代表作であるアニメキャラクターのモニュメントを設計 など

- ・ こうした事例について、ビジョン連携推進会議等を活用して、関係者間で議論するとともに、本書においてもとりまとめ、多様な主体間における共通認識を醸成していく。

- ・ 都として様々な補助事業等を活用し、市町村の取組を積極的に後押し。

多様な主体による工夫ある取組の促進

3 主な事業の取組状況、都の最新の動向、市町村・民間等の取組

人口減少、高齢化等多摩地域が直面する課題を見据えた上で、施設整備、道路整備、市町村・民間等への支援等ソフト・ハード両面にわたる取組が進んでいる。
事業全般の状況： 行動戦略の策定以降においても、多摩地域の更なる発展を図る観点から、利便性や地域の活力向上など、多摩振興の更なる取組が積み重ねられている。
今後とも、市町村・民間等と連携して、多摩地域の振興を着実に進め、魅力にあふれ、活力に満ち、安全・安心が確保された多摩の実現を目指していく。

第1章 持続可能な暮らしやすいまちづくり

まちづくり

<行動戦略1> 地域独自の魅力に根差した成熟したまちづくりの推進

- (1) 「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)(仮称)」の目標等の検討を推進
- (2) 「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン(仮称)」の策定
- (3) 大学・学生とのまちづくり(NPO法人 くにたち富士見台人間環境キーステーション)

「いなか暮らし支援住宅」の整備(奥多摩町)

スポーツ・文化

<行動戦略2> オリンピック・パラリンピック開催を見据えたスポーツ・文化の振興

- (1) 1964年大会50周年記念事業の実施

「東京文化ビジョン」の策定・公表(平成27年3月)
- (2) 2020年大会に向け、スポーツ振興や事前キャンプ誘致などに取り組む市町村への支援

障害者スポーツの理解促進・普及啓発、競技力向上など、障害者スポーツの更なる振興の取組の推進
- (3) 特設WEBサイトによるまちの魅力発信(多摩市)

「デジタル博物館」を活用した魅力発信事業(国分寺市)

子育て・教育

<行動戦略3> 子育て環境の充実強化と将来を支える人材の育成

- (1) 小規模保育を整備する市町村への支援(6市17か所)

周産期母子医療センター等におけるNICUの確保(69床)

東京ジュニア科学塾等の開催(科学塾2回、科学塾専修コース8回)
- (2) 保育所等整備促進のための用地確保策の拡充
- (3) 5歳児発達支援相談事業(立川市)

対話による美術鑑賞事業(西東京市)

高齢者・障害者など

<行動戦略4> 高齢者が健康でいきいきと活躍する社会の実現

- (1) 地域包括支援センターの機能強化のための市町村支援(11市町)

サービス付き高齢者向け住宅等の整備(累計7,627戸)

特別養護老人ホームの整備(211施設)
- (2) 市町村の介護予防機能の一層の向上

福祉人材の確保・定着等に向けた支援
- (3) あんしん未来支援事業(調布市)



東京都福祉人材センター多摩支所
(福祉人材の確保・定着等に向けた支援)

<行動戦略5> 障害のある人もない人も共に暮らす地域社会の実現

- (1) 障害者就労支援センター設置市町村への支援(27市町)
- (2) 「障害者・障害児地域生活支援3か年プラン」(平成27年度～平成29年度)の策定
- (3) 3Dプリンタを活用した障害者就労支援事業(東久留米市)

<行動戦略6> 健康と安心を支える医療体制の整備

- (1) 小児総合医療センターへのER病棟設置

東京都地域救急医療センターの指定(37病院)

「東京都地域医療支援ドクター」の採用・派遣
- (2) 多摩メディカル・キャンパスの連携強化

東京労働局との連携強化による看護師の確保
- (3) 胃がんリスク検査事業(東大和市)



多摩メディカルキャンパス
ゾーニングイメージ

第2章 高付加価値を生み出す企業活動の促進

産業

<行動戦略7> 産業集積の強みを活かしたイノベーションの創出

- (1) 「地域産業基盤強化計画」に基づき事業を実施している市町村の支援(3市)
- (2) 地域産業の活性化
- (3) 産学連携による新たなものづくりへの取組(株式会社菊池製作所)

<行動戦略8> 地域の特性を踏まえた雇用・就業の推進

- (1) しごとセンター多摩における就業支援の展開

多摩職業能力開発センター等における公共職業訓練の実施(1,510名入校)



セミナーの様子
(しごとセンター多摩)

- (2) 多摩地域における雇用就業対策の推進
- (3) ちょうふ若者サポートステーション(調布市)

※凡 例

- (1) … 主な事業の取組状況
- (2) … 行動戦略策定後の新たな取組等
- (3) … 市町村・民間等の取組等

第3章 地域資源を活かした産業の活性化

観光・農林水産業

<行動戦略9> 地域の特性を踏まえた観光の振興

- (1) 多様な観光まちづくりを推進する市区町村を支援(10市町村)
地域に埋もれた資源を発掘し、観光資源として活用を図るための企画案を選定、事業化(11件)
- (2) 市町村の外国人旅行者の受入環境整備に関する取組への支援
- (3) モニュメント及び観光発信拠点整備(稲城市)

<行動戦略10> 農林水産物の付加価値を高め、地産地消を促進

- (1) 「多摩産材情報センター」の開設
- (2) 国家戦略特別区域制度を活用した都市農業の推進
ブランド畜産物の生産拡大
- (3) こまえブランド野菜GAP推進事業(狛江市)



トウキョウX

第4章 地域を支える交通インフラの整備

交通

<行動戦略11> 地域の内外を結び多摩を支える道路ネットワークの整備

- (1) 調布保谷線(境南通り付近～井ノ頭通り間)交通開放
新奥多摩街道線について福生3・4・5が完成
圏央道の都内区間が全線開通(高尾山IC～相模原愛川IC間開通)
- (2) 第3次交差点すいすいプランの推進
多摩山間部道路の整備推進〔(仮称)梅ヶ谷トンネル〕

<行動戦略12> 公共交通ネットワークの充実と快適な交通環境整備の促進

- (1) 横田基地軍民共用化に関する地元経済団体などとの情報交換・意見交換を実施
- (2) 自転車推奨ルートの整備
- (3) 幹線交通ネットワーク機能強化事業(町田市)



自転車レーンの整備イメージ

第5章 災害に強いまちづくり

防災

<行動戦略13> 耐震化の促進による地震に強い都市の実現

- (1) 防災上重要な公共建築物の耐震化
(都内645病院中、耐震化済437病院、一部耐震化済113病院)
市町村が取り組む無電柱化事業への支援(4市)
- (2) 無電柱化の推進

<行動戦略14> 自助・共助・公助の推進による防災力の向上

- (1) 「東京の防災プラン」の策定
全都立高校における宿泊防災訓練の実施
- (2) 「防災ブック」の作成・配布
都立公園の防災関連施設の整備
航空消防救助機動部隊の創設
- (3) 学校を核とした地域防災力の向上(調布市)



航空消防救助機動部隊
(イメージ図)

<行動戦略15> 水害対策・土砂災害対策・雪害対策の推進

- (1) 「東京都豪雨対策基本方針」の改定
地元業者との雪害時の協力協定の締結による除雪協力体制の構築、除雪車両・機材の確保など、除雪体制の充実
- (2) 豪雨対策の推進
- (3) 冠水警報表示システム「冠水ガード君」の開発(町田市)

第6章 低炭素で自立分散型エネルギーのまちづくり

エネルギー

<行動戦略16> 低炭素・快適性・防災力を備えたスマートエネルギー都市の実現

- (1) 上下水道施設における太陽光発電設備の導入
(楯原給水所、南多摩水再生センター等)
- (2) 水素エネルギーの活用拡大
「スマートプラン2014」の策定
水再生センターにおける小水力発電の導入
- (3) 市域におけるエネルギー需要削減手法検証事業(武蔵野市)



小水力発電の仕組み

第7章 豊かな自然の保全と活用

自然

<行動戦略17> 豊かな森林や多様な緑の保全と確保

- (1) 間伐や枝打ちによる森林再生(間伐:542ha、枝打ち:144ha)
都立公園の整備(5公園)
- (2) 森林循環の促進
都民の自然体験活動の促進
- (3) 生物多様性あきる野戦略推進事業(あきる野市)
身近なビオトープづくりの推進(小平市)



森林の循環イメージ

<行動戦略18> 美しく良質な水環境の実現

- (1) 改修済み河川の護岸や河川管理用通路における緑化事業の推進
(大栗川、境川において0.6haの緑地を創出)
下水の高度処理施設を整備(北多摩二号、多摩川上流水再生センター)
- (2) 多摩地域の水環境の維持・向上
- (3) 湧水めぐり水のまちプロジェクト(八王子市)

<行動戦略19> 豊かな自然環境を活かした観光の推進

- (1) 森林観光ルートを整備する市町村を支援(5市町村)
- (2) 自然を活かした水辺のにぎわい創出
- (3) 官民連携による観光ルートづくり
(美しい多摩川フォーラム)
旧戸倉小学校観光施設整備事業(あきる野市)



民間事業者の水辺の利活用イメージ
(出典:国土交通省資料)

第8章 「成熟・持続」に対応した行政サービスの展開

行政サービス

<行動戦略20> 多様な連携・協働による持続可能な行政サービスの推進

- (1) 東京の自治のあり方研究会を開催し(4回)、最終報告をとりまとめ
(平成27年3月)
東京の広域的な環境課題の解決に向けた市区町村の取組を支援
(13市町村)
- (2) 市単独処理区の流域下水道への編入
- (3) 旧多摩川小学校の跡地活用(立川市)